

VI 防 災

1 概 要

本県の近年の主な災害としては、平成26年2月の記録的な大雪により、死傷者や家屋の損壊被害、高速道路や一般道の通行不能、公共交通機関の運休による交通網の麻痺など、県民生活に大きな被害がもたらされた。

平成23年3月には、東北地方太平洋沖地震（M9.0）が発生し、死傷者や家屋の半壊・一部損壊被害、東京電力（株）福島第一原子力発電所事故に伴う計画停電や放射性物質の放出等による農産物の出荷停止など、県民生活に大きな影響がもたらされた。平成21年7月には、竜巻災害があり、負傷者や建物損壊など大きな被害が発生した。平成19年9月には、台風9号による風水害被害があり、本県西部地域を中心に、台風本体が上陸する前から予想をはるかに上回る雨が降り、人的被害は少なかったものの、道路、河川、森林、農地等に多大な被害がもたらされた。

このような災害対応の教訓も踏まえて、災害から県民の生命・身体・財産を保護するため、様々な防災対策を推進している。

(1) 群馬県地域防災計画の修正

災害対策基本法に基づいて作成する都道府県地域防災計画は、都道府県における防災に関する基本的かつ重要な計画として位置づけられている。

本県では、群馬県防災会議が、県地域防災計画に検討を加え所要の修正を行っている。直近の修正としては、平成24年度に東日本大震災の被災地における防災課題や教訓等を踏まえた防災基本計画の修正に伴い、特に大規模広域災害に備えた対策についての規定を充実させるとともに、平成24年度に見直した本県の地震被害想定調査により明らかになった防災課題等を踏まえ、平成34年度までの減災目標を定めた地震防災戦略を策定し、各種災害対策の充実を図った。

(2) 各種訓練の実施

災害対応の知識・技術力の向上、初動体制の確立及び関係機関との連携強化を図るため、次の訓練を実施した。

区 分	参加者	訓 練 内 容 等
総合防災訓練 (伊勢崎市との共催)	1,300人	○実施日：平成25年9月7日（土） ○場所：伊勢崎市八斗島町 利根川河川敷「八斗島ちびっ子広場」 ○内容：震災・水害訓練、テロ対策訓練 ○参加機関：自衛隊、警察、消防、医療機関、民間事業者、ボランティア、住民など 93機関
災害対策本部 図上訓練	205人	○実施日：平成26年2月14日（金） ○場所：災害対策本部室、県民ホール ○内容：「群馬県災害対策本部各班における応急業務マニュアル」の自己検証等を行うため、大規模地震発生を想定し、県防災の中核である県災害対策本部の機能、役割の確認、関係機関との連携訓練 ○参加機関：陸上自衛隊第12旅団、警察本部、日赤群馬県支部、群馬DMAT、群馬県消防長会等の機関

(3) 備蓄倉庫・物資の整備

地域防災センター、10行政事務所、10拠点校及び6土木事務所事業所等に設置してある備蓄倉庫に、食糧、保存水、毛布等を補充した。

(4) 自主防災組織の育成・強化

「自分たちの地域は自分たちで守る」を合言葉に、自主防災組織の組織率100%を目指し、自主防災組織の普及啓発を行う出前講座や、地域の防災リーダーを育成する県民防災塾等を実施し、自主防災組織の育成・強化を図った。(H25.4.1現在の組織率80.1%)さらに、新規事業として地域の災害対応力の向上を図ることを目的に県内の自主防災組織を対象にゲーム的訓練(DIG・HUG)を市町村と連携して開催した。(DIG:4組織、HUG:8組織)

県民防災塾は、平成12年度から実施しており、平成25年度は44人が参加した。(平成12年度の開始から延べ546人が受講。)

また、「地域防災力パワーアップ支援事業」として、平成25年度は、災害対応先進地視察研修会(2回・参加人数36人)及び地域防災力パワーアップセミナー(参加人数約200人)を実施した。

(5) 危機管理フェアの開催

災害やテロなど県民生活の安全安心を脅かす危機事案について、各種情報や対処方法について県民に正しく理解してもらうことを目的とし、平成26年1月17日・18日の2日間、県庁を会場に開催した。

初日の講演会では、「災害派遣に学ぶー阪神淡路・東日本大震災、伊豆大島などの災害対応から学ぶ今後の課題ー」「災害ボランティア地域の被災時にどう関わってもらうかー」「竜巻注意情報の改善に向けてーレーダー観測からのアプローチ」の3部構成で講演を行ったほか、2日間を通して、自衛隊、警察、消防など防災機関が保有する装備資機材等やパネルの展示、各種体験コーナーや備蓄食糧の展示販売などを行った。自衛隊による炊き出しの無料配布も行い、延べ2,100人の方が来場し、広く防災に対する意識啓発を行うことができた。

(6) 防災キャラバンの実施

市町村で行われる各種「イベント」等の機会をとらえ、地震体験車による各種震度体験、備蓄物資・資機材の展示、災害用保存食の試食等を行い、参加者の防災意識向上を図った。

(7) 火山防災対策

浅間山の火山防災情報の共有や連絡体制の充実等の防災体制強化を図るため、平成17年11月に、群馬県、長野県、浅間山隣接市町村等により浅間山火山防災対策連絡会議を発足し、以後毎年2回開催している。国の防災基本計画の改定にあわせて平成25年12月18日に「浅間山火山防災協議会」へと移行した。

また、平成26年3月には浅間山と同様に、日光白根山における火山防災情報の共有や連絡体制の充実等の防災体制強化を図るため「日光白根山火山防災協議会」が群馬県、栃木県、隣接市町村等により設立された。

(8) 地震防災対策

阪神・淡路大震災後に実施した地震被害想定から15年以上経過し、社会条件の変化、新たな知見、技術の進歩等を踏まえ、平成23年度から平成24年度にかけ、県内3断層(帯)を対象に被害想定を実施し、平成24年6月に「群馬県被害想定調査」を公表した。

この被害想定を踏まえ、県・市町村・国・事業者・県民等の取り組む施策及び事業により、平成34年度までの減災目標を定めた群馬県地震防災戦略を平成25年3月に策定した。

平成25年度からは地震防災・減災を効果的に推進するためには県民や地域の取組が極めて重要な役割を担うことから地震防災戦略普及推進事業として、地震防災・減災フォーラムを県民局単位で5回開催し、来場した計2,350人に対し、地震防災・減災に関する意識を高揚させることができた。

(9) 災害時職員アクションマニュアルの改訂

災害時に職員一人ひとりが迅速かつ的確に行動できるよう平成8年に「震災時職員アクションマニュアル」を作成し、全職員に配布した。その後は、改訂版を作成し、県庁ネットワークを利用して職員に周知を図った。

特に、平成16年は、浅間山の噴火、新潟中越地震、度重なる台風の接近を踏まえて内容を見直し、「災害時職員アクションマニュアル」と改訂した上で製本し、全職員に配布した。

なお、平成17年以降、組織改正などに伴うマニュアルの見直しを随時実施しているが、平成22年には再び製本印刷し、全職員へ配布した。

(10) その他

ア 自衛隊の災害派遣要請

平成25年度は、次のとおり自衛隊への災害派遣要請を行った。

件名	要請件数	要請内容等
桐生市菱町白葉峠 林野火災	1件	○災害種別：林野火災 ○要請期間：平成25年5月7日 ○要請区域及び 活動内容：桐生市菱町地内山林における林野火災消火活動
大雪に伴う災害派遣要請	11件	○災害種別：大雪 ○要請期間：平成26年2月15日～2月20日 ○要請区域及び 活動内容：県南西部における孤立住民の救出活動や支援物資の輸送等

イ 林野火災消火用資機材倉庫の維持管理

陸上自衛隊第12旅団相馬原飛行場敷地内に平成13年度に建設した林野火災消火用資機材倉庫の維持管理を行った。

また、長野県、新潟県及び栃木県との協定により空中消火用バケットの使用について、共同して運用管理を行った。

ウ 災害救助法の適用

一定規模以上の災害が発生した場合は、り災者の保護と社会秩序の保全を図るため、災害救助法を適用し、知事がり災者の救助に当たることとなっている。平成25年度は、平成26年2月の記録的な大雪により、3市3町3村（沼田市、藤岡市、安中市、神流町、下仁田町、東吾妻町、上野村、南牧村、高山村）に同法を適用した。

2 群馬県地域防災計画の修正状況

防災会議 審議年月日	主な修正事項 (これまでの修正のうち重要なものを抜粋)
38. 9. 10	○群馬県地域防災計画作成
39. 8. 24	○「大震火災予防計画」を新設
42. 6. 1	○災害予防計画中、地すべり関係のほか、山崩れ、がけ崩れ関係危険地域の予防対策を追加
44. 6. 20	○災害予防計画に「火山予防計画」を新設
47. 6. 29	○「地すべり防止対策基本計画」を新設
48. 6. 12	○「林野火災予防計画」及び「林野火災応急対策計画」を新設
53. 7. 25	○災害応急対策計画に「相互応援対策計画」を新設
55. 7. 24	○「自主防災組織育成強化計画」を新設 ○災害対策本部設置前の配備体制として災害警戒本部を追加
63. 7. 26	○群馬県防災行政無線の整備完了に伴い、通報・伝達系統を全面修正
H4. 8. 6	○県地域防災計画の別編として「県震災対策計画」を作成
7. 9. 21	○平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、現行計画を抜本的に修正。主な修正事項は次のとおり。 ①初動体制の確立…宿日直体制・緊急登庁員制度の導入、個別受信機の配備 ②情報収集・伝達体制の整備…パソコンネットワークの構築、代替通信手段の確保 ③自主防災活動の推進…自主防災組織促進協議会の設置、住民の役割を明記 ④相互応援体制の確立…現行応援体制の強化、隣接県との協定締結 ⑤ボランティア活動の育成・支援…ボランティアリーダーの育成、登録制度の導入 ⑥応急物資の備蓄の推進…家庭における備蓄の励行、県・市町村の役割を明記 ⑦防災拠点の整備…地域防災センターの整備
8. 8. 21	○災害対策基本法及び群馬県災害対策本部条例の改正に伴い、群馬県災害対策本部に現地災害対策本部の項を追加
9. 8. 20	○県防災ヘリコプター「はるな」の導入に伴い、「防災ヘリコプター活用計画」を新設
10. 8. 25	○国の防災基本計画の修正に合わせ、道路事故災害及び鉄道事故災害に関する予防計画及び応急対策計画を新設
11. 8. 27	○平成10年に福島県の救護施設で発生した土石流災害を踏まえ、本編に災害弱者対策を新設 ○震災対策編に「本県の地震環境」及び「被害の想定」を新設
13. 6. 13	○県地域防災計画の本編を風水害・雪害対策編、火山災害対策編、事故災害対策編、火災対策編の4つに編立
14. 6. 5	○土砂災害防止法の制定に伴い、土砂災害に関する各種の計画を修正 ○気象業務法に基づく注意報・警報の地域細分化(二次細分地域)に伴う修正
15. 12. 8	○日本郵政公社の発足に伴う、内容の変更 ○群馬県被災宅地危険度判定要綱の制定に伴う事項の追加
16. 12. 27	○水防法改正に伴う内容の変更 ○避難準備(災害時要援護者避難)情報の創設
19. 7. 6	○気象情報の改正(注意報区分変更や土砂災害警戒情報新設等)に伴う修正 ○平成18年豪雪災害の教訓を踏まえた修正
22. 8. 24	○防災基本計画の修正に伴う修正(緊急地震速報、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の確立等) ○気象情報の改正(気象警報等が市町村単位の発表になったことや噴火警戒レベルの導入)に伴う修正
24. 1. 30	○平成23年3月11日に発生した東日本大震災を踏まえた修正。主な修正事項は以下のとおり。 ①県境を越えた広域避難者の受入れ ②県外で原子力施設事故が発生した際の対応 ③災害時要援護者等への配慮の一層の充実 ④災害時等の燃料不足への対応

25. 3. 21	<p>○東日本大震災の被災地における防災課題や教訓等を踏まえた防災基本計画の修正に伴う修正。主な修正事項は以下のとおり。</p> <p>①大規模広域災害を意識した平時からの備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺自治体や遠隔地自治体との相互応援協定締結の推進 ・障害者・介護保険施設等の施設間連携の推進 <p>②大規模広域災害発生時の応急対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村域、県域を超えた広域避難への対応規定新設 ・県域を超えた広域医療搬送に係る規定の新設 <p>○県地震被害想定調査結果を踏まえ、災害対策の充実を図るための修正。主な修正事項は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・群馬県地震被害想定調査結果の反映 ・避難所生活における環境改善及び災害時要援護者への配慮充実 ・帰宅困難者対策の充実
-----------	--

3 市町村地域防災計画の修正報告の状況

市町村名	報告年月日
前橋市	H25. 4. 1
板倉町	H25. 5. 17
安中市	H25. 6. 14
富岡市	H25. 9. 13

市町村名	報告年月日
桐生市	H25. 12. 4
吉岡町	H26. 1. 16
伊勢崎市	H26. 3. 27
邑楽町	H26. 3. 31

4 群馬県総合防災訓練実施状況

※訓練参加実人員

回	年月日	訓練実施場所	参加人員	共催市名
1	40. 8. 10	前橋市岩神町 利根川右岸 県庁北	1,000	前橋市
2	41. 7. 29	高崎市竜見町地先烏川左岸 聖橋下	1,021	高崎市
3	42. 7. 28	桐生市桜木町地先渡良瀬川右岸 錦桜橋下	730	桐生市
4	43. 7. 26	伊勢崎市八斗島町地先 利根川左岸	739	伊勢崎市
5	44. 8. 25	太田市大字飯田 学校建設予定地	1,068	太田市
6	45. 7. 24	渋川市金井羽黒425 関東電化工業敷地	902	渋川市
7	46. 7. 23	館林市大字羽附 群馬県立つつじが岡公園内	1,221	館林市
8	47. 8. 22	沼田市西倉内町650 沼田公園野球場	1,165	沼田市
9	48. 7. 26	藤岡市立石字北川原地先 烏川右岸	1,238	藤岡市
10	49. 9. 3	前橋市岩神町 利根川左岸 競輪場第5駐車場	1,246	前橋市
11	50. 7. 23	富岡市七日市字上久保1250 鍋川左岸	1,222	富岡市
12	51. 8. 24	安中市宿2003 碓井川左岸	901	安中市
13	52. 8. 10	桐生市桜木町地先渡良瀬川右岸 錦桜橋下	1,208	桐生市
14	53. 8. 8	高崎市下和田町地先 烏川左岸	1,148	高崎市
15	54. 8. 8	伊勢崎市福島町地先 利根川左岸	1,387	伊勢崎市
16	55. 9. 1	太田市大字東別所地先 太田大泉飛行場跡地	1,333	太田市
17	56. 9. 1	沼田市西倉内町650 沼田公園野球場	879	沼田市
18	57. 8. 6	館林市城町 三の丸南面グラウンド東広場	4,270	館林市
19	58. 8. 5	渋川市大野地内 渋川市総合体育館南牧草地	3,304	渋川市
20	59. 9. 1	藤岡市下戸塚地内 神流川運動場	10,134	藤岡市
21	60. 8. 6	富岡市上黒岩地内 富岡北部運動公園計画地	7,693	富岡市
22	61. 8. 30	安中市宿地内 碓井川左岸河川敷	7,990	安中市
23	62. 8. 26	前橋市岩神町 利根川左岸 競輪場第5駐車場	※ 1,453	前橋市
24	63. 8. 25	高崎市八千代町一丁目 碓井川左岸 八千代運動公園	※ 1,244	高崎市
25	元. 8. 25	桐生市桜木町地内 渡良瀬川右岸 さくら遊園	※ 1,364	桐生市
26	2. 8. 30	伊勢崎市八斗島町地先 利根川右岸 八斗島ちびっこ広場	※ 1,613	伊勢崎市
27	3. 8. 22	太田市只上地内 渡良瀬川右岸 渡良瀬川運動場	※ 1,519	太田市
28	4. 8. 25	沼田市西倉内町650 沼田公園野球場	※ 1,288	沼田市
29	5. 8. 25	館林市大島町地内 渡良瀬川右岸 館林市青少年ひろば	※ 1,713	館林市
30	6. 9. 1	渋川市半田地内 上毛新聞社情報製作センター建設予定地	※ 818	渋川市
31	7. 9. 5	藤岡市上戸塚地内 神流川左岸 神流川運動場	※ 1,138	藤岡市
32	8. 8. 30	富岡市上黒岩1377-1 もみじ平総合公園 北ゾーン	※ 1,310	富岡市
33	9. 9. 4	安中市郷原939 ㈱岡本工作機械製作所安中工場敷地	※ 1,019	安中市
34	10. 9. 4	前橋市総社町総社地内 利根川右岸 大渡緑地	※ 1,266	前橋市
35	11. 9. 3	高崎市八千代町 八千代運動公園	※ 1,603	高崎市
36	12. 9. 5	桐生市桜木町 さくら遊園	※ 1,741	桐生市
37	13. 9. 2	伊勢崎市八斗島町 利根川右岸 八斗島ちびっこ広場	※ 2,013	伊勢崎市
38	14. 8. 31	太田市原宿町 渡良瀬川右岸 渡良瀬ランド	※ 1,451	太田市
39	15. 8. 30	沼田市硯田町 沼田市運動公園	※ 1,428	沼田市
40	16. 8. 29	館林市大島町 渡良瀬川河川敷青少年ひろば	※ 1,100	館林市
41	17. 9. 3	渋川市半田地内 坂東橋緑地公園	※ 815	渋川市
42	18. 9. 2	藤岡市立石地内 烏川右岸 烏川緑地	※ 1,332	藤岡市
43	19. 10. 20	前橋市粕川町 サンデン(株)赤城事業所敷地	※ 757	前橋市
44	20. 9. 6	安中市宿 碓氷川左岸敷地内	※ 738	安中市
45	21. 9. 12	みどり市笠懸町阿左美地内 桐生競艇場駐車場	※ 827	みどり市
46	22. 9. 18	富岡市蚊沼607-3他 (株)稲葉製作所富岡工場建設予定地	※ 960	富岡市
47	23. 9. 10	高崎市下之城町 高崎操車場跡地周辺土地区画整理事業地内	※ 1,000	高崎市
48	24. 9. 8	桐生市桜木町地内 渡良瀬川河川敷「さくら遊園」	※ 990	桐生市
49	25. 9. 7	伊勢崎市八斗島町 利根川河川敷「八斗島ちびっこ広場」	※ 1,300	伊勢崎市

(注) 訓練概要

- ① 想定・・・1回～15回は台風、16・17・23・39・43回は地震、18～22・24～31・34～38・40～42・45～49回は地震及び台風(41～47回はテロ対策含む)、32、33回は地震及び林野火災
- ② 訓練種目・・・警戒広報・避難誘導、被害調査・情報収集、孤立地域からの救助、情報通信、水防、各種救出救助、消火、林野火災消火、救急医療、ライフライン応急復旧、救援物資